

平成25年度 事業報告書

学校法人 新渡戸文化学園

1. 法人の概要

・設置する学校 (平成25年5月1日現在)

(単位：人)

学 校	学科・専攻等	収容 定員	在学 者数	専任教職員数		
				教員	職員	計
新渡戸文化子ども園 (共学)		110	131	15	1	15
新渡戸文化小学校 (共学)		320	319	17		18
新渡戸文化中学校 (女子)		240	46	7	1	7
新渡戸文化高等学校 (女子)	全日制 普通科	425	129	10		11
新渡戸文化短期大学 (共学)	生活学科	160	173	22	6	28
	食物栄養専攻 児童生活専攻	100	104			
	専攻科	50	42			
	臨床検査学科	192	221			
事務局 (給食を含む)					21	21
合 計		1,597	1,165	82	34	116

・役員および評議員 (平成25年5月1日現在)

役職名	氏 名	説 明
理 事 長	豊川 圭一	就任日 平成19年4月1日、任期平成26年5月31日
学 園 長	森本 晴生	就任日 平成20年4月1日、任期平成28年3月31日
常務理事	林 徹	就任日 平成23年4月1日、任期平成29年3月31日
理 事	8 名	法人の事業に貢献4名、評議員の互選3名、短大学長1名 (理事長、学園長、常務理事を含む)
監 事	2 名	学外者2名
評 議 員	21名	教職員から5名、卒業生から2名、法人に関係ある学識経験者9名、 理事の職にある者(評議員の互選3名を除く)5名

2. 事業の概要

当該年度の事業項目	事業の目的、概要
子ども園 ・保育体制の拡充 ・保育内容の充実	・保育体制の拡充 長時間保育部分の人的・物的環境と保育内容の充実を図った。 1歳児以下の保育に関し検討を開始した。 ・保育内容の充実 プロジェクト会議等により、組織力向上を推進した。課外体操教室を開始した。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・アフタースクール・小学校との連携強化 小学校、アフターと定期的な情報交換を行った。 ・長時間預かり園児シェアの更なる向上及び募集人員の確保 26年度入園者数65人 うち長時間保育25人 (25年度入園者数55人 うち長時間保育21人)
小学校 ・教育内容の充実 ・学園各校との連携強化	・教育内容の充実 小中高教科会の推進、担任配置の見直し及びマルチライセンス教員採用を行った。 ・中学内部進学推進策強化 中学への内部進学を強力に推進し、前年度2名から9名(男子3名女子6名)に増加した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 教科指導を充実させ新任教員研修、マナー研修等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・アフタースクール・中学・高校との連携強化 中高との合同職員室による日常的な交流、アフター宿題指導の計画を立案し26年度実施を目指す。 ・募集活動の強化 アフタースクール等新機軸の取り込み、募集パンフレット一新し、外部説明会展示の見直しに向け検討した。 ・キャリアマザー支援を中心とした募集活動強化及び募集人員の確保 26年度入学者数60人(25年度入学者数62人)

<p>アフタースクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加対応 ・保護者等からの信頼確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度一日平均利用者数 前年の28.8人から53.2人へと上昇した。 ・3年生以上の利用率向上 前年比 3年生2.3人が6.1人、4年生0.1人が1.0人と向上した。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・中学・高校との連携強化 子ども園とは教職員採用時の面接連携 小学校とはクラブコーチをアフターと同じコーチを採用し情報共有した 中高とは剣道部との連携等を行った。 短大とは学生をスタッフとして採用し、研修講師に短大教員採用した。 ・預かりサービスの質の向上 アレルギー研修会などに参加した。また、台風等で小学校休校時にも開室した。 ・小学校募集活動の一貫として小学校外部相談会に参加し、連携強化した。
<p>中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの内部進学推進策強化 内部進学者数が前年の2人から9人に増加した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 相互授業評価・教科会議・講師指導等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・高校との連携強化 アフターの宿題指導・剣道及び小学校の清掃活動・授業交流等を行った。 ・募集活動の強化 26年度入学者数20人（25年度入学者11人） ・中高一貫シラバス等取り組み強化 教科会で検討を行った。 ・男女共学化対応 研修会実施等を継続して行った。
<p>高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン・医療系特色ある新コース制度運営強化 TOEIC、看護等の特色ある授業を行った。 短大教員による授業開始に向け準備した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 相互授業評価・教科会議・講師指導等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・中学との連携強化 子ども園での保育実習、アフターの宿題指導・剣道、小学校の清掃活動・授業交流等を行った。 ・募集活動の強化 26年度入学者38人（25年度入学者42人） ・中高一貫シラバス等取り組み強化 教科会の検討を継続した。 ・卒業生同期会の組織化検討 同期会の定期開催、成人の会を企画した。 ・アンケート等による保護者からの意見収集とその対応 学年末にアンケートを実施した。
<p>短大(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業力育成と就職支援強化 ・自己点検評価の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業力育成と就職支援強化 「新渡戸フォリオ」として学生・教員ともに活用を開始した。 ・FD・SD活動の充実及び第三者評価による適格認定を受けた。 ・学園一貫教育を意識した高校との連携強化 26年度高校での授業開始に向け準備した。 ・将来構想策定 短大の学科運営のあり方についての答申提出に向け、鋭意準備した。 ・質及び量両面での定員確保の安定化 26年度入学者数 食物栄養専攻87人 児童生活専攻55人 児童生活専攻科41人 臨検学科72人 計255名（25年度256人）
<p>短大(生活学科、専攻科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・併設校との連携 ・コース制充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養専攻 学園一貫教育を意識した「食育」等の実践及び取り組みを強化した。 キャリア支援・就業力強化のための参加体験型・資格取得型プログラムを充実した。 栄養士キャリアアップ講座の充実を図った。 ・児童生活専攻 個別指導の徹底と資格取得の意識向上を図った。 ・専攻科児童生活専攻 コース制の人数制限による専門性意識向上を図り、子ども園でのインターンシップを通じ、実践力強化を図った。

短大（臨床検査学科）	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの見直し・充実（国家試験合格率向上3年化計画…2年目） 国家試験合格率98.8%となった。 専門領域の更なる取り組み推進 <p>心電図読解について順調に効果が出ており、実習病院での学生の評価は高かった。また、医学英語は大学への編入の際に役立っている。</p>
子ども教育研究所 ・紀要発行	・特になし
臨床検査研究所 ・公開講座開催 ・紀要発行	・臨床検査研究所紀要を発行した。
新渡戸・森本研究所 ・歴史資料の収集 ・資料収集の継続	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資料の収集・整理の継続を行った。 関連の研究機関、資料館などとの交流継続を行った。
法人 ・学園環境の整備 ・学園制度改訂	<ul style="list-style-type: none"> 空調改修工事（1号館）、調理実習室改修 臨床検査学科改修（教務室、学生ロッカー設置他） ホームページ第3次更改（子ども園） インフラシステム刷新（評価システム） 人事制度改定（就業規則改正） 36協定改定（変形労働時間導入等）

3. 平成25年度理事会等の開催状況

日時	会議
平成25年5月27日	理事会・評議員会
平成25年9月10日	理事会
平成25年12月10日	理事会
平成26年3月11日	理事会・評議員会

4. 財務の概要

- 消費収支の推移

（単位 百万円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
A. 帰属収入	1,403	1,431	2,769	1,487	1,517	1,597
B. 基本金組入額	0	66	0	0	64	110
C. 消費収入(A-B)	1,403	1,365	2,769	1,487	1,453	1,487
D. 消費支出	1,481	1,424	1,625	1,425	1,434	1,550
純資産の増減(A-D)	-78	7	1,144	62	83	47